

産地情勢 (2024.7.16)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを2百万トン引き上げ116百万トンとした。(7月11日)

ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを2.5百万トン引き上げ114.1百万トンとした。(6月14日)

ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを0.7百万トン引き上げ111.6百万トンとしたが、リオグランデドスル州の大洪水の影響は加味されていない。(5月15日)

ブラジル国家食糧供給公社は、作付遅れと価格の下落によるサフリナ・コーンの面積の減少により、23/24年度の生産見通しを1.7百万トン引き下げ111百万トンとした。サフリナ・コーンの作付けは93%進捗した。(昨年82%)。(4月12日)

ブラジル国家食糧供給公社は、とうもろこしの価格低下で作付面積が減少し、23/24年度の生産見通しを0.9百万トン引き下げ112.7百万トンとした。サフリナ・コーンの作付けは93%進捗した。(昨年82%)。(3月13日)

3月の降水量が平年を下回る予報が出ており、心配される。(3月6日)

作付け遅れとシカゴ定期の下落で作付面積の減少が懸念されていたが、サフリナ・コーンの産地調査の結果、ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを4百万トン引き下げ113.6百万トンとした。(2月9日)

クロープ ^o カレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・コーン (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	21%	主に国内飼料需要向
サフリナ・コーン (冬作)		1-3月上旬	4月	6-8月	77%	輸出の中心 大豆収穫後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを147.4百万トンとした。(6月14日)

ブラジル国家食糧供給公社は、23/24年度の生産見通しを147.7百万トンとした。(5月15日)

ブラジル国家食糧供給公社は、10-11月の悪天候による単収減少で23/24年度の生産見通しを0.4百万トン引き下げ146.5百万トンとした。(4月12日)

生産量の見通しは145百万トンから156百万トンまで分かれている。(4月9日)

ブラジル国家食糧供給公社は、単収減少で23/24年度の生産見通しを2.6百万トン引き下げ146.9百万トンとした。(3月13日)

ブラジル国家食糧供給公社は、高温乾燥による作付面積と単収減少で23/24年度の生産見通しを4.9百万トン引き下げ155.3百万トンとした。(1月11日)

	作付期	着籾期	収穫期
例年のクropp カレンダー	9月-12月初め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は55%進捗した。ブエノスアイレス穀物取引所の2023/24年度の生産予想4650万トンと変更なし。(7月1日)

虫害と病害による遅蒔きとうもろこしの単収悪化により、2023/24年度の生産予想4700万トンに減少した。(5月7日)

2024/25年度の作付けは、前年蝗害を受けた農家の作付け面積の削減が予想される。(4月30日)

ブエノスアイレス穀物取引所は病害による遅蒔きとうもろこしの単収悪化により、2023/24年度の生産予想を4950万トンに更に減少させた。(4月17日)

収穫は11%進捗した。ブエノスアイレス穀物取引所は北東部の病害や乾燥気候により、2023/24年度の生産予想を5200万トンに減少させた。更なる減少の可能性も示唆している。(4月9日)

とうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換してとうもろこしの作付面積が減少するとみられる。(11月15日)

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

収穫は86%(平年61%)進捗した。(6月4日)

ブエノスアイレス穀物取引所は2023/24年度生産量予測を51百万トンとしている。(5月14日)

ブエノスアイレス穀物取引所は2023/24年度生産量予測を52.5百万トンとしている。

(3月20日)

北部産地で早植えのとうもろこしの作付けができなかった生産者が大豆に転換して大豆の作付面積が増加するとみられる。(11月15日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープ カレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

米国産とうもろこし

受粉は7月17日で50%完了の見通し。(平年より2日前)。受粉前に高温や乾燥ストレスを受けると、とうもろこしの実のサイズが小さくなる(6月25日)

米国産大豆

作付けは78%進捗した。(平年73%)(6月5日)

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測(7月12日)

とうもろこし (百万トン)

	2022/23	2023/24	2024/25
米国(9-8月)	346.7	389.7	383.6
ブラジル(3-2月)	137.0	122.0	127.0
アルゼンチン(〃)	36.0	52.0	51.0

- ・米国の2024/25年度の作付面積が1.5百万エーカー増加し生産量が6.1百万トン増加した。しかし期首在庫が減少し24/25の期末在庫率は0.13%減少した。
- ・アルゼンチンの2023/24年度の実産量が百万トン減少した。

大豆 (百万トン)

	2022/23	2023/24	2024/25
米国(9-8月)	116.2	113.3	121.1
ブラジル(2-1月)	162.0	153.0	169.0
アルゼンチン(4-3月)	25.0	49.5	51.0

- ・ブラジルの2023/24年度の実産量が洪水の影響で更に百万トン、アルゼンチンも0.5百万トン減少した。
- ・米国の2024/25年度の作付面積が0.4百万エーカー減少し生産量が0.4百万トン減少した為、24/25の期末在庫率は9.98%に0.46%減少した。

*北半球の穀物年度は21/22の場合、2021年の月から始まるが南米は2022年の月から始まる。(USDA)